

令和6年度第5回
大阪府市公立大学法人大阪評価委員会
議事要旨

- 1 日時 令和7年1月20日（月）午前10時～午前11時50分
- 2 場所 大阪市役所本庁舎 屋上（P1）階 会議室
- 3 出席委員 （会場出席）浅田委員長、青木委員、海崎委員、中島委員、水谷委員
（WEB出席）網代委員、槇山委員

4 議事概要

（1）公立大学法人大阪第2期中期計画（案）について

- ・ 事務局より、資料1-1に基づき、「中期計画の法的な位置づけ」や「中期目標との関係」、「評価委員会における審議の進め方」について説明があった。
- ・ 続いて、資料1-2から1-6について、説明があった。
- ・ 法人から、資料1-3に基づき、「公立大学法人大阪第2期中期計画の作成の考え方」や「第2期中期目標における重点方針への対応」、「計画の概要」について、説明があり、その後、計画に関する審議が行われた。

<主な意見（計画（案）の修正に係る意見）>

○第1 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

・ 3 研究に関する目標を達成するための措置

（委員）国際力の強化を重点的にしていくということで、チャレンジ指標など多く設定している一方で、研究重視大学なのに、「研究」の項目が少なく、指標にもチャレンジ指標がない。日本最大の公立大学として、研究を頑張ろうとしているところ。「国際力の強化」や「財務内容の改善」の部分で、研究にも関連するかなりチャレンジングな指標が記載されているのに、研究の部分で評価できない。

「海外研究拠点の設置」、「国際共著論文比率」や「世界大学ランキング順位」は、国際力の強化では評価できるが、研究の評価にはつながらない。また、財務内容の改善にある「外部資金獲得」も研究で獲得していきたいとのことだが、達成しても研究の評価につながらない。

研究に関わる指標については、研究の計画に再掲してもいいのではないかな。

評価結果を対外的に公表していくときに研究に関する項目が少ない印象をもつが、法人としての考え方を教えていただきたい。

（法人）法人での議論でも、社会との共創や国際力の強化に研究に関する項目が分散し、研究に関する項目は2項目で少なく見えるとの懸念はあった。指標に関して

も研究以外の計画に記載されているという点は、ご指摘のとおり。特に計画の進捗状況を表すための指標設定をしており、再掲は避けてきた。一方で、委員の指摘のとおりだと考えるため、ご意見をもとに、設立団体と調整し、法人で検討を行いたい。

（委員）再掲は、他にもあり、全く再掲しないという方針ではないと思う。評価する際に、適正にバランスよく全体がみえるようにするということが重要と考えるので、検討いただきたい。

・ 5 医学部附属病院等に関する目標を達成するための措置

（委員）指標【16－1】について、一般的に病院でモニターされている病院の経営状況の指標にとどまっている。特定機能病院として、臨床研究と医療教育の2点について、定量指標が難しければ、定性指標であっても、指標に追加したほうがよいのではないか。

（法人）病院の経営が厳しい中で、経営を立て直すという意味で、現在の4指標を入れている。病院改革プランにおいて、臨床研究や医療教育についての指標を記載しているので、その中からピックアップできないか検討する。全体的に、取り組むことを全て記載するものではないが、一方で、重要な視点であり、位置づける場所も含めて検討したい。

（委員）全てを計画に記載するものではないことは理解。一方で、指標がないと、病院における取組が府民市民に対して発信されずもったいないので、検討してほしい。

以上